クラブ誌

久松

2017～2018年度
第1号
NO.496

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B 7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

地区アクティビティ・スローガン	『未来に繋ぐ 美しき心と地域』
地区ガバナー・スローガン	『成せば成る We Serve!』
地区ガバナー・キーワード	『家族』『次世代』『LCIF』
鳥取久松LC会長スローガン	『明るい未来をめざして“We Serve”』

会長就任挨拶

会 長
L 涌島　勉

私が平成3年3月に鳥取久松ライオンズクラブの一員となって、今年で26年になります。当時を振り返りますと、クラブも盛会で、県立障害者福祉センター「厚和寮」の運動会への協賛、「憩いの森」の整備・清掃、池田家墓地や湖山池畔に東屋建設など、多様なアクティビティをしてきました。会員数も70名を超えていました。

入会当初から不熱心な会員であった私が会長を仰せつかって、本当に大丈夫だろうか？固辞し続けた方が良かったのでは？ と、マイナス思考からのスタートになりました。

しかし、この1年間、会長をお受けするなら、プラス思考で行かなくては皆様に申し訳ない。と、心を入れ替えて考えたスローガンが「明るい未来をめざして“We Serve”」です。そして、ボーイスカウトの関係で読んだことがある「非営利団体の運営」という本を読み返して勉強しようと思い、家中探しましたが見つかりませんでした。

そこで、当時心に残った事だけをお伝えします。『動かない団体は消滅する。同じ事を同じように行うことも動かないと同じである。』継続事業も、とても大切ではありますが、毎年アレンジしてはどうでしょうか。

歴代会長の中で一番頼りない私でございますが、「皆でしょうで!」「失敗したら、やり直しすればいいじゃん！」の精神で、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

幹事就任挨拶

幹 事
L 松下 稔彦

今年度、「幹事」という大役に任命されました。

指名されてから、いろいろな会議に出席させていただいておりますが、大きなプレッシャーに眠れぬ日々が続いております。日々の業務も忙しく、皆勤とはいかないと思います。

皆様にはご迷惑をお掛けすることと存じますが、我が鳥取久松ライオンズクラブの伝統を守るため、涌島会長を全力でサポートさせていただく所存です。

皆様のご協力を仰ぎながら、一生懸命頑張って参ります。

どうかよろしくお願いいたします。

会計就任挨拶
「メンバーを増やして　久松カラーのUP！を・・・」

会 計
L 吉川 利雄

本年度、入会して二度目となる会計を仰せつかりました、どうぞよろしくお願いいたします。

私がクラブに入会させていただいたのは1983年の年末ですが、その頃は当クラブの会員数は72名程度だったと記憶しています。現在は本当に少なくなりました。40･50･60歳代がメンバーの中心であったことを思い出しています。委員会構成も現在の4委員会ではなく、運営委員会･事業委員会も細分化され、執行部を含めて張りつき、大変活気がありました。当クラブは「派閥は絶対につくらず、一人ひとりの会員が平等に活動し、アクティビティに参加する」がモットーでした。

今年度会長スローガン「明るい未来をめざして“We Serve”」、Newメンバーを増強し、老いも若きもクラブメンバー全員参加型の鳥取久松LCらしいアクティビティを･･･! 見直し出来る継続事業は熟慮検討してはいかがでしょう。

会員が増えればクラブの運営がよりスムーズになり、好循環を形成していくのではないかと考えます。クラブのアクティビティにはご家族や知人にボランティアでの参加をお願いしてみる、終了後は皆でお茶やジュースで委員長を中心に語らいの場を設けるというのもいいではありませんか?

鳥取久松LCらしいすばらしいアクティビティを考えましょう!　そして「We　Serve!」一年間よろしくお願いいたします。

地区YCE･国際関係委員就任挨拶

地区YCE･国際関係委員
L 橋本 和憲

2017～2018年度　336－B地区YCE･国際関係委員の任命を承り、身の引き締まる思いです。

ライオンズクラブ活動のYCE事業は、ご存知の通り「世界の間に相互理解の精神を培い発展させる」というライオニズムの第一目的を推進する為の一つの手段であり、YE（青少年交換）プログラム方針に基づいて現在、夏季･冬季の派遣と受入、ユースキャンプを通じて、活動の機会を青少年に与え、異なる文化的背景をもつ家庭や地域での交流をもって活動をしています。私自身過去に留学生の受け入れをさせて頂き、また昨年の冬季スキーキャンプを通じての経験から活動の意義は充分感じています。

反面、現状のライオンズクラブ会員数の減少傾向から、またクラブとしてその意識が薄らいではと危惧の念を抱いているところです。

戦後、グローバル化が進む一方で一部の国々で、国家主義、ナショナリズム、国益の対立が見られますが、人々の個人的なつながりによる文化の交流、海外旅行や留学を通して、国際的な流れを止めてはならないと感じる次第です。

YCE活動が少しずつでも広がっていくよう会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

地区ガバナー挨拶

地区ガバナー
L 太田 健一

本年度国際協会は、創立101年目の扉を開き、新たなスタートを切りました。

私は、ガバナー・スローガンを「成せば成る ウィ・サーブ」、キー・ワードを「家族」「次世代」「LCIF」としました。会員減少が続いている昨今、〝団結〟と〝行動〟の力を合わせて粘り強くアクティビティを続けることで、多くの方々から理解され、愛される魅力溢れるクラブへ作り変え、会員増強を成し遂げなければなりません。

『奉仕』は、ライオンズクラブの神髄です。

今期、ナレッシュ・アガワル国際会長のテーマは「ウィ・サーブ」であり、私たちは、この「ウィ・サーブ」の原点を見極め、「温故知新」のもと、未来に繋ぐアクティビティをメンバー全員が一丸となって、常に創造していきたいものです。

最後になりましたが、会員皆様方の益々のご活躍とクラブのご発展を祈念して、挨拶と致します。

7R−1Z ゾーンチェアパーソン就任挨拶

７Ｒ－１Ｚ・ＺＣ
L 島田 政徳
（鳥取砂丘 LC 所属）

この度、336-B地区7R-1Zのゾーンチェアパーソンの大任（重責）をお受けする事になりました。

1917年ライオンズクラブ国際協会が創立され、昨年が100周年の節目でもありました。今年度は101周年であり200周年を迎えるための新たなる第1歩を歩み出します。ライオンズクラブの歴史はこれからも止まる事はありません。

太田健一地区ガバナーは101年のスタートに際し、地区アクティビティ・スローガン『未来につな繋ぐ美しき心と地域』、地区ガバナー・スローガン『成せば成る We Serve!』、ガバナー・キーワード『家族』『次世代』『LCIF』を掲げられ、この100年を振り返って、良い所は伸ばし、先を見据えて、変えるべきは変えて、地区を元気に前進させたい!!と強く語っておられます。この意を受け、私はゾーンチェアパーソンの責務として、地区ガバナーの方針・意思の伝達を行いながら、さまざまな情報交換や、クラブと地区キャビネットのホットライン役を果たさなければなりません。

現在1Zでは6クラブが活動を行っています。所属クラブは異なってもライオンズクラブに入会した仲間です。ステータス（品位）、プライド（誇り）を持って100年の歴史を重んじ、クラブメンバー全員がパワーを結集させれば、会員の減少を防ぎ増強が出来、明るい兆しが見えてきます。貴クラブが大きく伸びれば他のクラブに良い刺激が伝わります。共に良い流れが出来そうな、そんな活力あるクラブ作りを目指して走って行く事が出来ると思います。クラブ会員として所属クラブに希望を持ち、大きな夢を見たいと願うものです。

こんな私ですが、ゾーン皆様のご指導を頂きながら頑張って参りますので、是非ご協力の程よろしくお願い致します。

納涼移動例会

2017年7月27日(木)
18:30～20:30
於 居酒屋「田田」

7R-1Zガバナー公式訪問6LC合同交流例会

去る8月23日(水)　ホテルニューオータニ鳥取･鶴の間に於いて太田健一地区ガバナー並びに随行の皆さまをお迎えして、6LC合同の交流例会が開催されました。

今回は、数年前からのゾーンの懸案であった6LC合同で「懇親」を行う例会として、初の開催となりました。また、来賓として、野川聡鳥取県副知事並びに羽場恭一鳥取市副市長のご臨席を頂きました。

例会では、太田地区ガバナーのご挨拶、例年のセレモニーの他に各クラブ会長によるクラブ活動報告の場が設けられました。終始和やかな雰囲気の裡に、島田ZCのライオンズローアをもって20:00に閉会となりました。

また、例会に先立ち、15:30から17:00まで6LC三役懇談会が開催され、各クラブの現況報告、地区委員からの報告等が行われました。

第45回鳥取市 敬老ボウリング大会を開催して

社会福祉・環境保全等委員長
L 武田 行雄

去る9月11日月曜日、わがクラブの秋の恒例事業「第45回鳥取市敬老ボウリング大会」がスターボウルで開催されました。

このボウリング大会は、「敬老の日」を前に高齢者の健康づくりとふれあいを深めていただくという趣旨で昭和48年から開催しているもので、今年は記念すべき45回目の大会となりました。わがクラブの結成が昭和45年ですので、結成後間もない時代から続いている伝統ある行事です。

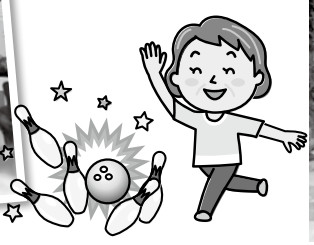
当日は、鳥取市社会福祉協議会の協力により、鳥取市老人クラブ連合会から近年では最高の111名の方々に参加いただき、大変賑やかな大会となりました。

開会式では、我がクラブの涌島会長の主催者代表挨拶から始まり、鳥取市社会福祉協議会の坂本常務理事様の来賓挨拶、鳥取市老人クラブ連合会の竹本副会長様の謝辞、稲葉山地区の高須様の選手宣誓の後、涌島会長、坂本常務、竹本副会長の3名による始球式が行われました。

引き続き7番から30番までの24のレーンを使ってゲームが行われ、ピンが倒れる度に歓声や笑い声、声援がこだまする大変な盛り上がりの中で、怪我もなく無事に2ゲームを終了しました。参加者の中で最高齢の方は89歳でしたが、年齢を感じさせない堂々とした姿に感動しました。

表彰式では、1位～5位の上位入賞者、10位～100位までの10位ごとの飛び賞の他、18日の敬老の日に合わせて18位、第45回大会を記念して45位、さらには涌島会長のお年にちなんで69位などの特別賞もたくさんあり、発表の度に大きな拍手で盛り上がりました。最後に我がクラブの福田第二副会長の閉会宣言で大会を滞りなく終了しました。

当日、しろやま支部を含む会員の皆様には、いろいろとお手伝いやアドバイスを頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。



鳥取久松ライオンズクラブに入会して

L 尾室 高志

このたび上杉栄一様のご紹介により、歴史と伝統ある鳥取久松ライオンズクラブに入会させていただきました尾室高志です。入会に際しましては、多くの諸先輩方に温かく迎えていただき心より感謝申し上げます。

入会時にいただいたクラブ誌などを拝見し、子どもからお年寄りまであらゆる世代を対象にした奉仕活動の内容を詳しく知りました。

皆様が、幅広く、そして心を込めて丁寧に地域社会に貢献されている姿に改めて感銘した次第です。

価値観が多様化し社会環境が大きく変化する現代では、地域での人の繋がりや支え合い意識の希薄化が進んできています。このような中、人づくりや絆づくりに汗をかく奉仕活動は、地域の維持・発展にますます大切になってくるものと考えます。

私自身、ライオンズクラブの理念である奉仕の精神を尊び、諸先輩方の活動に学びながら、自分にできることをしっかりとやっていく決意であります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

「ブルーベリー狩り」に参加して

しろやま支部
L 福田 栄子

今年も厳しい暑さの続いた夏でしたが、しろやま支部では恒例の「ブルーベリー狩り」を7/23(日)に行い、去年に引き続き倭文にある当クラブ会員の宮部さんの経営される「いなばブルーベリーガーデン」へ出かけました。

安全安心が評判の農園で、甘くて大粒そして沢山の種類のブルーベリーを、会員同士、和気あいあいと「この木甘い」「あっちが大きい」と、食べ比べながらお腹いっぱいにし、また「明日になったら眼鏡がいらなくなるかもね」と、おしゃべりしながら広々とした園内の摘み取りをしました。

また宮部さんが「くじ」を作ってくださっていて、大当りの子供さんのはじける笑顔。

カゴいっぱいの果実、またジャム、ドリンク、ジェラード等を食べたり、お土産にと、大人、子供合わせて参加者21名楽しい半日を過ごしました。

あとがき

本年度第1回目の会報をお届けします。

予算の関係で、年4回発行予定を年3回の発行とすることにいたしました。

紙面の関係上、これまで掲載していた「誕生祝」「事務局便り」「マンスリーレポート」「ダイアリー」は掲載いたしません。ご不便をおかけしますが、皆様のご理解を頂きたいと思います。

今後ともご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

(PR・会報編集者委員会委員長　高岡　繁)

■発　　行　鳥取久松ライオンズクラブ
■事　務　局　鳥取市川端2丁目125 鳥取県不動産会館3F
☎(0857)23-6830　Fax(0857)23-4908
■E-mail　kyusholc@hal.ne.jp
■会　　長　涌島　勉
■幹　　事　松下 稔彦
■PR・会報編集者委員長　高岡　繁
■例　会　日　第2・第4木曜日 12:20～13:20
■例　会　場　白兎会館
鳥取市末広温泉町556 ☎(0857)23-1201